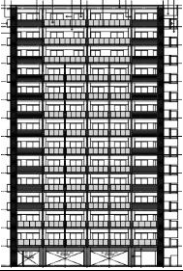


CASBEE® 熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要			■ 外観	
建物名称	(仮称)春日二丁目マンション	階数	地上14F	
建設地	熊本市西区春日二丁目534番2の一	構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年10月5日	
敷地面積	866 m ²	作成者	株式会社 コイケデザイン	
建築面積	324 m ²	確認日	2021年10月5日	
延床面積	3,307 m ²	確認者	株式会社 コイケデザイン	

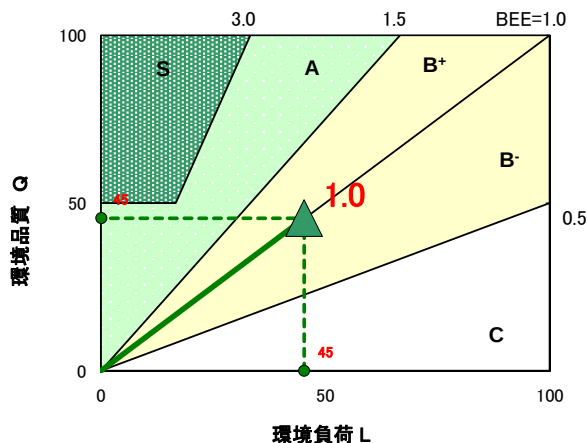
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

$$\text{BEE(環境効率)} = \frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$$



■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	★★★★★
30%超60%以下	★★★★
60%超80%以下	★★★
80%超100%以下	★★
100%超	★

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

87%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

71

評価点

【重点事項1】温室効果ガス排出量削減の推進

79.7

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

65.0

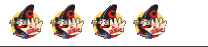
【重点事項3】県の地域資源の有効活用と保全

60.0

【重点事項4】循環型社会の実現

69.0

■ 熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

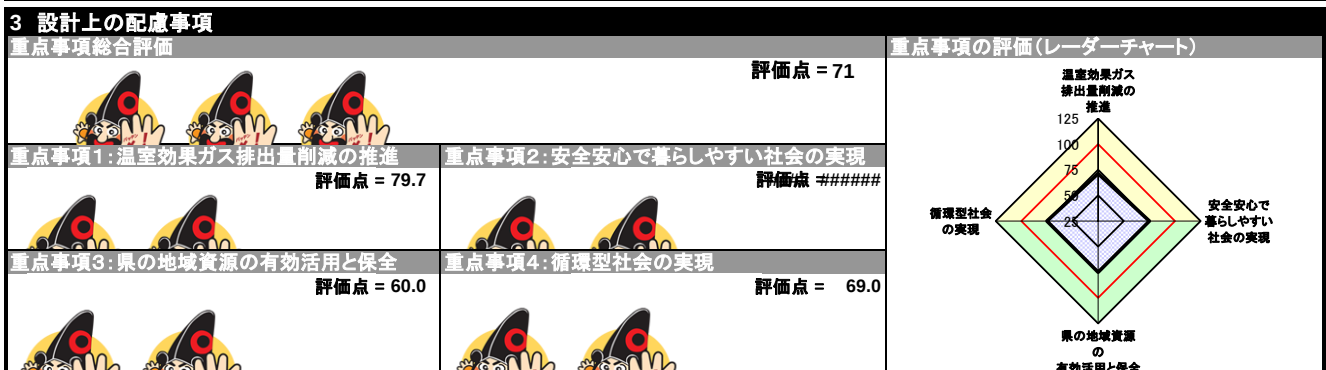
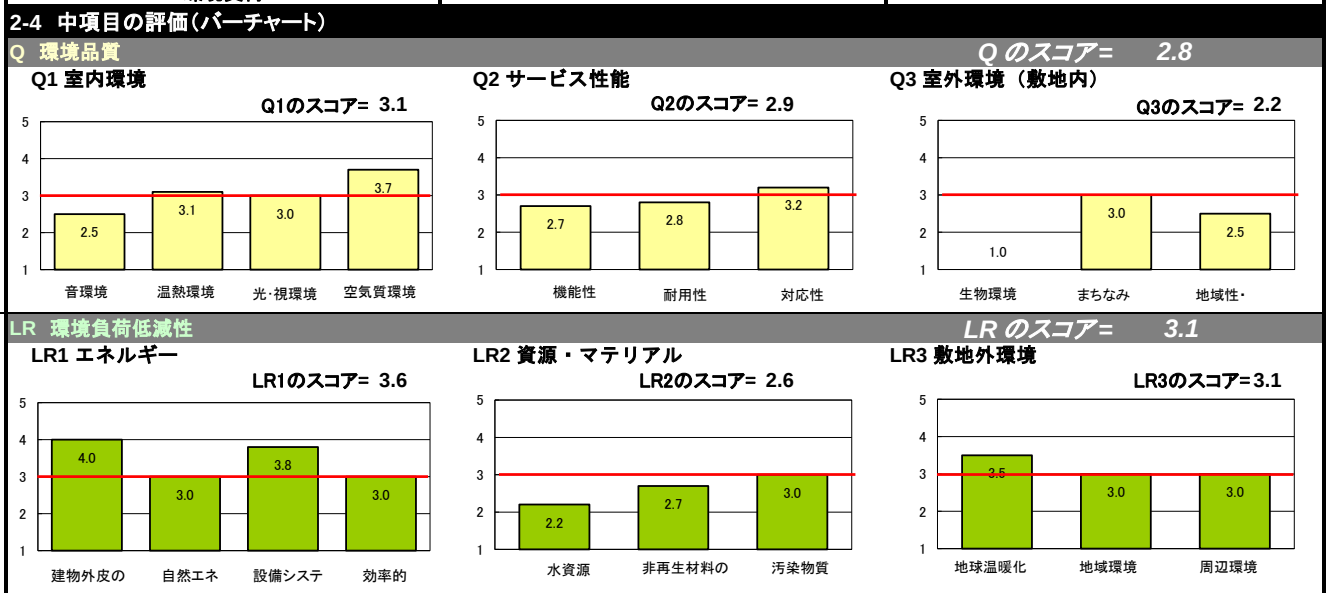
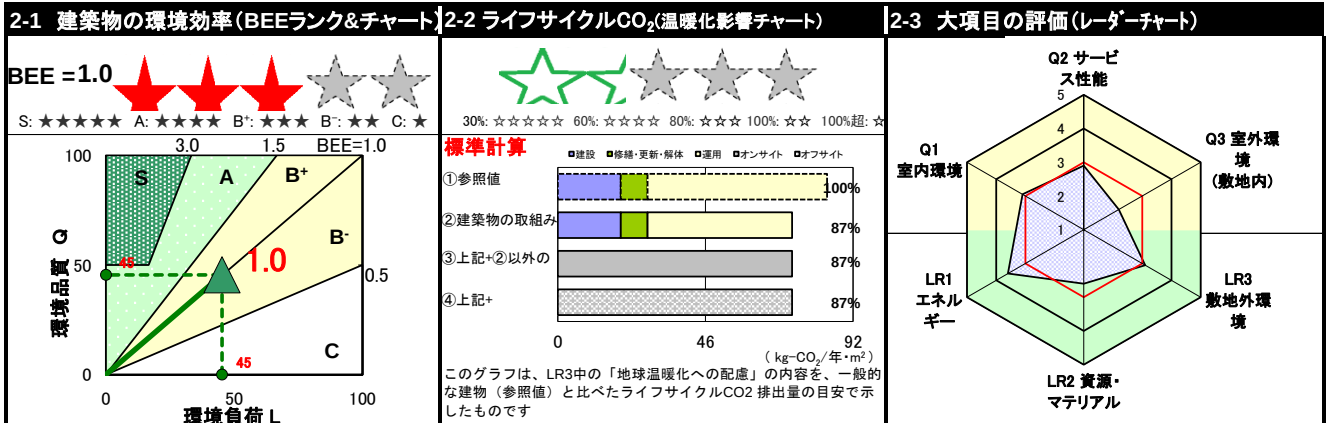
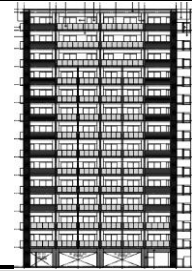
※評価点は、100点以上が推奨です。

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)春日二丁目マンション	階数	地上14F
建設地	熊本市西区春日二丁目534番2の一	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年10月5日
敷地面積	866 m ²	作成者	株式会社 コイケデザイン
建築面積	324 m ²	確認日	2021年10月5日
延床面積	3,307 m ²	確認者	株式会社 コイケデザイン



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

省エネルギーに努め周辺地域の環境に配慮した。

Q1 室内環境

居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁材（タイル）の彩度を落したデザインとし、周囲へのまちなみ景観へ配慮している。

LR1 エネルギー

低消費係数器具を採用することで環境への配慮を行った。

LR2 資源・マテリアル

節水型の設備機器を採用した。

LR3 敷地外環境

透水性舗装・植栽スペースを設け周辺環境へ配慮した。

その他

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)春日二丁目マンション

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境					0.40		-	3.1
1 音環境				2.0	0.15	2.6	1.00	2.5
1.1	室内騒音レベル			3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2	遮音			1.0	0.50	2.2	0.50	
1	開口部遮音性能			1.0	1.00	3.0	0.30	
2	界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
1.3	吸音			-	-	-	-	
2 温熱環境				2.6	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1	室温制御			2.2	0.50	3.3	0.50	
1	室温	等級4		3.0	0.63	3.0	0.63	
2	外皮性能			1.0	0.38	4.0	0.38	
3	ゾーン別制御性			-	-	-	-	
2.2	湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3	空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.4	0.25	3.1	1.00	3.0
3.1	昼光利用			3.0	0.30	3.5	0.30	
1	昼光率	住居部: 1.25%		-	-	4.0	0.50	
2	方位別開口			-	-	3.0	0.30	
3	昼光利用設備			3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2	グレア対策			1.0	0.30	3.0	0.30	
1	昼光制御			1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3	照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4	照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1	発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63	
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2	換気			3.0	0.40	3.3	0.38	
1	換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能	0.144(1/8以上)		-	-	4.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3	運用管理			-	-	-	-	
1	CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2	喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.5	0.40	2.8	1.00	2.7
1.1	機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性			-	-	-	-	
2	高度情報通信設備対応			-	-	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2	心理性・快適性			1.0	0.30	2.5	0.40	
1	広さ感・景観	天井高: 2.5m		-	-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3	内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3	維持管理			3.5	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保	①②③④⑤⑥		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1	耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2	部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	B以上を使用Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
2.4	信頼性			2.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備			1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			1.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	3.6	0.50	
	1 階高のゆとり	階高:2.965m	-	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		等級4	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	置床下地	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率:87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	自転車置場の確保、駐車スペース・駐車施設の確保	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

熊本市重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)春日二丁目マンション

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本市重点評価結果				総合評価点		71
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				79.7	0.40	31.88
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	1.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	4.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				60	0.20	12.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				69	0.20	13.80
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数